

第374整備群、航空自衛隊第1術科学校の研修を実施 *374 MXG hosts JASDF 1st Technical School immersion*

August 6, 2026

By Airman 1st Class David S. Calcote
374th Airlift Wing Public Affairs

このほど、航空自衛隊第1術科学校の学生が、専門的な交流や任務への理解を通じて日米同盟の強化と相互理解の促進を図る交流研修の一環として、横田基地を訪れた。

学生たちは基地内の主要施設を見学し、航空機や各種任務能力の説明を受けたほか、米軍の空兵たちと交流した。横田基地がインド太平洋地域で担う役割について理解を深めるとともに、基地の運用状況を直接学び、同盟国の隊員同士の関係構築を図った。

第374航空機整備中隊飛行支援担当責任者ケニアズ・ポストン中尉は、「この研修は、現在整備幹部として教育を受けている航空自衛隊のパートナーに、横田基地の整備能力を紹介する機会だ。互いに学び合うだけでなく、円滑なコミュニケーションの構築にもつながる」と述べた。

研修では、学生たちは基地内のさまざまな任務や職種について触れ、チーム横田が地域の航空輸送をどのように支え、航空自衛隊と連携して即応性の高い日米同盟を維持しているかについて理解を深めた。

また、第374整備中隊弾薬資材課主任ジョナサン・ガイラード技能軍曹は、「我々の関係は、この地域の平和と安定は一国だけでは維持できないという共通認識の上に築かれている。日米が一体となった即応態勢こそが、任務を成功に導くために欠かせない」と強調した。

こうした専門的な交流は、日米両国の次世代を担う隊員同士の信頼と理解を深め、相互運用性の向上に寄与する。継続的な交流を通じて、横田基地と航空自衛隊は、自由で開かれたインド太平洋の実現を支える揺るぎないパートナーシップを一層強化していく。

